

<状況の説明力>

生活していると、色々な事があって当然です。イレギュラーな事、突発的なトラブルやアクシデント、思いもよらない良かった事や悪かった事など……。そんな時、状況説明が出来ると違います。言葉の表現がカタコトであつたり単語であつても、**時系列と登場人物、場所が明確になると、受ける側として、状況が掴みやすいです。** また、**自分を守るアイテム**にもなります。

※「気持ちの」の表現がプラスされると更にいいですが、「気持ちの表現」は、その次の段階になります。
気持ちの表現の理解はかなり、難易度が高いです！

ミッションボードで、「ことば練習」 / 「文字練習」 / 「振り返り」という事を行っています。
(個人個人で目的が異なるので、方法や声掛けは違います。)

- ステップ1 「ことば練習」→ 発声(滑舌)・単語練習 / 物事の名前と動作等のマッチング など
- ステップ2 「文字練習」→ 文字書き(本の全文書き / 鉛筆の持ち方や文字の書き方) など
- ステップ3 「振り返り文」→ 文の構成(**5W1H** と **時系列** の理解) など

*「物事、場所、の名前が分かる 及び 言える事」これは練習次第です！ 方法は様々ですが..

スキルアップのポイントは
プリント等ではなく、
生活に密着した実践行動！

経験値を上げるのは絶対です！

- * 本の音読(自分の行っている事を聞いて認識する)
- * なんでもいいので、鉛筆で文字を書く、もしくは模写をする。
- * 簡単な文で日記(のような物)を書く。
- ★とにかく物事や行動の名前を伝える。(生活の中でいつでも、どこでもできます)

<振り返り文>

ここでのステップを、
大前提の土台として
行います。

振り返り文の主旨。

- ① 自分の行動を頭の中でまとめる
- ② 時系列の整え
- ③ 自分の行動の理解
- ④ 気持ちの表現を知る など

<最終目的>

何かあった時などに自分できちんと
状況説明が出来る力をつける。

これらを基本としたやり方で、
「劇的に変化と成長をした先輩」
の実績ありです (^-^)/

第①段階 「(定型文としてでもいいので) 文の構成、接続詞、場所の名前を明確にする。」

今日、学校から 〇〇(店の名前) を タッチ して スイッチ に 帰りました。

第②段階 「ペアなどで帰ってきたらその人の名前を入れる。」

今日、学校から〇〇をタッチして △△君 と 一緒 に スイッチに帰りました。

第③段階 「気持ちを入れる。」

今日、学校から〇〇をタッチして△△君と一緒にスイッチに帰りました。頑張りました。

第④段階 「状態や状況を入れる」

今日、学校から〇〇をタッチして△△君と一緒にスイッチに 持久走 で 帰りました。頑張りました。

④の先は、スイッチでの活動の振り返りになり、内容も更に「応用」された文にしていきます。それぞれの個性的な内容が見えてきます。